

取組別評価シート(平成28年度実績)

政策3	快適で魅力あるまちを目指します
取組1	暮らしたくなる都市拠点の創出
取組の目的	誰もが安心して快適に暮らせる、いつまでも暮らしたくなるまちづくりを推進します。

現状と課題	◎本市はこれまで、子ども医療費助成などのソフト事業とともに、土地区画整理事業や民間による住宅環境を提供し、若年世帯に対しても住みやすい環境を整備してきたことにより、人口増加とともに合計特殊出生率の向上が図られた。 ◎今後、少子高齢化や人口減少が進展する中において、多様な生活機能がコンパクトに集積した都市拠点の形成、誰もが便利で安心して豊かに暮らすことができる居住環境の構築、災害に強いまちづくりが必要である。
-------	---

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H26	H27	H28	H29	H32	H28達成率
1	市民がまちづくりに参加する地区数(地区計画など) (地区)	目標値	—	—	7	8	10	100.0%
		実績値	6	7	7			
2	地区計画などの実施面積 (ha)	目標値	—	—	338	346	360	88.5%
		実績値	299	299	299			
3	土地区画整理実施区域内の未 利用区画数(区画) ※実績値:上段は現在施行地 区のみ 下段は市域全体	目標値	—	—	817	792	770	100.0%
		実績値	860 (860)	827 (778)	783 (683)			
		目標値	—	—				
		実績値						
		目標値	—	—				
		実績値						
		目標値	—	—				
		実績値						
								96.1%

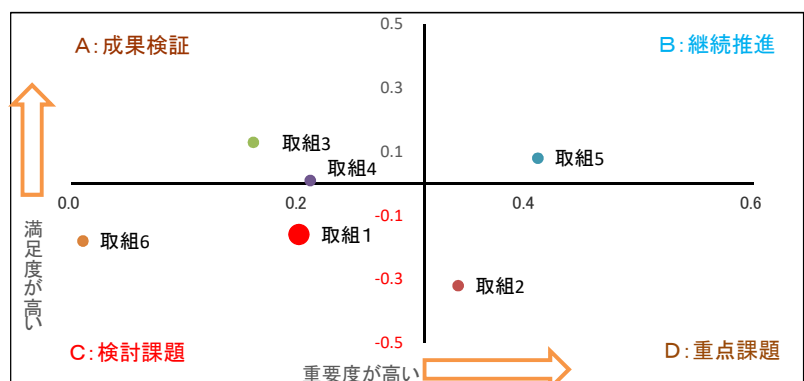
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1							
2							
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.20				
満足度	-0.2				

政策3 重要度と満足度の評価マトリクス



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H30年度に 重点化する 事業
		H28年度 実績額	H29年度 予算額	H30年度 予算の方向性	

基本方針(1)コンパクトに生活機能が集約した都市拠点の形成

袋井駅南地区まちづくり事業	都市計画課	2,779	800	拡充	◎

基本方針(2)安全で魅力ある市街地の形成及び再生

袋井市上山梨第三土地区画整理事業	都市計画課	163,112	61,000	縮小	
袋井駅南都市拠点土地区画整理事業	都市計画課	73,375	80,390	拡充	◎

基本方針(3)地域資源の保全と良質な景観形成の推進

景観形成推進事業	都市計画課	3,008	1,686	継続	
屋外広告物適正化事業	都市計画課	7	32	継続	

基本方針(4)総合的な住宅施策の推進

市営住宅施設整備事業	都市計画課	40,098	35,500	継続	
空家対策事業	都市計画課	0	158	継続	

基本方針(5)まちづくりへの市民参加の推進

地域まちづくり支援事業	都市計画課	924	1,078	継続	

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎市民がまちづくりに参加する地区数及び実施面積については、川井西地区や袋井駅南地区において地域住民との意見交換や検討を引き続き行う。 ◎土地区画整理実施区域内の未利用区画数は、住宅メーカーによる複数区画の購入などにより減少し、効果的な利用が図られている。 ◎市民意識調査の結果では、市民の満足度は低い結果となっており、取組の内容や進捗状況をより分かりやすく情報発信していく必要がある。	H 28 の 評 価	概ね順調
II. 28年度に取り組んだ内容	◎袋井市上山梨第三土地区画整理事業では、公園工事等の実施及び保留地の売却(57区画)を行った。平成29年度事業完了予定である。 ◎袋井駅南地区のまちづくり事業では、メディカル地区において医療・高齢者・保育施設を誘致するとともに、商業地区において業務代行予定者の募集を開始した。		
III. 今後の展開方向	◎袋井駅南都市拠点土地区画整理事業及び駅南地区まちづくり事業により、市の顔となる玄関口、袋井駅南地区にふさわしい「にぎわい」の充実を図るとともに、「うるおい」のある良好な住環境の形成など、健康的な都市空間の創出に向け、まちづくりを推進する。 ◎上山梨地区など、都市基盤が未整備のまま宅地化が進み、老朽化建物が連担している地域については、地域との協働によるまちづくりを積極的に支援・推進し、安全安心な災害に強いまちづくりの実現を目指す。		

取組別評価シート(平成28年度実績)

政策3	快適で魅力あるまちを目指します
取組2	誰もが移動しやすいまちづくり
取組の目的	日常生活の移動を円滑にするため道路整備を行い、利用しやすい公共交通と拠点ネットワークを構築します。

現状と課題	◎高度経済成長期以降、段階的に整備してきた道路が老朽化してきたことにより、維持管理に要する費用の確保が課題である。 ◎自家用車の普及等により、公共交通に頼らない生活が広がり、民間路線バスや自主運行バスの利用者が伸び悩み、一人あたりのバス運行経費が増加している。
-------	---

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H26	H27	H28	H29	H32	H28達成率
1	市営バス(自主運行バス・デマ ンドタクシー・地域協働運行バ ス)の利用者数(人)	目標値	—	—	38,000	38,400	39,183 38,550	100.0%
		実績値	40,014	39,160	38,071			
2	幹線道路の歩道整備率 (%)	目標値	—	—	39.9	40.0	40.3	100.0%
		実績値	39.7	40.0	40.1			
3	協働による道路整備適用率(生 活道路) (%)	目標値	—	—	82.5	85.0	92.5	100.0%
		実績値	73.7	80.0	85.0			
4	修繕実施橋梁数 (橋)	目標値	—	—	19	22	29	100.0%
		実績値	14	19	21			
		目標値	—	—				
		実績値						
		目標値	—	—				
		実績値						
								100.0%

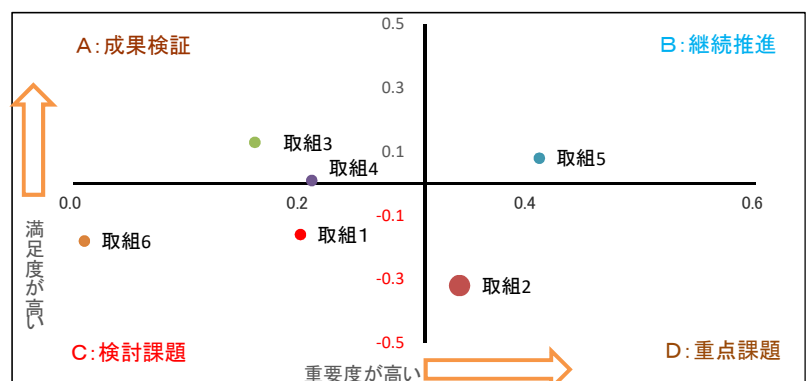
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1							
2							
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

政策3 重要度と満足度の評価マトリクス

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.34				
満足度	-0.3				



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H30年度に 重点化する 事業
		H28年度 実績額	H29年度 予算額	H30年度 予算の方向性	

基本方針(1)利用しやすい公共交通網の構築

生活バス路線確保対策事業	市民協働課	58,790	58,000	継続	
自主運行バス運行事業	市民協働課	49,041	52,556	拡充	◎
天竜浜名湖鉄道運営支援事業	市民協働課	807	903	継続	

基本方針(2)安全で円滑な道路整備の推進

袋井市上山梨沿道整備土地区画整理事業	都市整備課	112,377	165,000	拡充	
(都)山梨中央通り線新設事業	都市整備課	89,079	99,472	拡充	
(都)上久能山科線(第二工区)道路改築事業	都市整備課	40,451	73,000	縮小	
3級市道整備事業	建設課	50,093	66,000	継続	

基本方針(3)協働によるみちづくりの推進

協働によるみちづくり事業	建設課	983	1,700	継続	

基本方針(4)道路の老朽化対策の実施

道路・橋りょう維持管理事業	建設課	206,391	194,499	継続	
橋りょう長寿命化修繕事業	建設課	48,823	51,280	拡充	◎
道路ストック総点検事業	建設課	46,774	44,000	継続	
道路舗装補修事業	建設課	25,755	31,200	拡充	◎

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎自主運行バス等の利用者数は、目標値は達成しているものの、年々減少しており、10月の自主運行バスの見直しによる路線の短縮運行や病院線の減便、予約型乗合タクシー(デマンドタクシー)の試行運行を宇刈・浅羽南地区において開始したことなどもあり、昨年度実績より1,089人の減となった。 ◎取組に対する市民意識調査の結果では、市民の満足度は低い結果となっており、市民が利用しやすいバス等の公共交通の構築が求められている。一方で、幹線道路の歩道整備率及び協働による道路整備適用率(生活道路)はいずれも目標値を超えており、順調に整備が進んでいる。 また、既存の道路・橋りょう施設の点検を行い、必要な修繕について計画を立てている。	H 28 の 評 価	概ね順調
II. 28年度に取り組んだ内容	◎自主運行バスについて、宇刈地区及び浅羽南地区において、予約型乗合タクシー(デマンドタクシー)の試行運行を開始した。 ◎歩道整備では、重点施策となっている通学路の緊急合同点検に基づく路線を中心に事業を推進したため、歩道整備率の向上に繋がった。 ◎既存施設の維持管理について、老朽化している道路及び橋りょうの修繕を実施した。		
III. 今後の展開方向	◎デマンドタクシーは、平成29年10月からの本運行に向け、聴取した地域や利用者からの意見を踏まえて、運賃値下げ、乗合割引、目的地の追加、増便、予約時間の変更など運行の見直しを行い、利便性を向上させる。 ◎インフラ整備では、事業費の精査及び優先度の選定など「選択」と「集中」を徹底し、効果的な整備を進めるとともに、既存インフラ施設では、点検を徹底し、優先度を見極めた上で長寿命化を図っていく。		

取組別評価シート(平成28年度実績)

政策3	快適で魅力あるまちを目指します
取組3	花と緑と水のまちづくり
取組の目的	地域の資源を活かした憩いの場の創出や、花と緑にあふれるまちづくりを推進します。

現状と課題	◎都市公園の多くは高度経済成長期に整備され、供用開始後30年以上経過した公園が増加している。壊れたら直す維持管理から、定期的に修繕を行う予防保全対策の必要性が求められている。 ◎公園の維持管理について、多くの公園は地域団体等の愛護団体により管理されているが、高齢化が進んでおり、今後の活動継続に影響が出てくる。
-------	---

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H26	H27	H28	H29	H32	H28達成率
1	未利用地を活用した広場面積 (㎡)	目標値	—	—	0	0	1,000	—
		実績値	0	0	0			
2	公園愛護団体数 (団体)	目標値	—	—	81	82	85	100.0%
		実績値	80	82	82			
3	花工場の花苗配布数 (ポット)	目標値	—	—	166,000	167,000	170,000	98.9%
		実績値	165,601	162,400	164,150			
4	花育に関わる講座・イベントの 開催数 (回)	目標値	—	—	8	10	20	100.0%
		実績値	7	7	9			
		目標値	—					
		実績値						
		目標値	—					
		実績値						
								99.6%

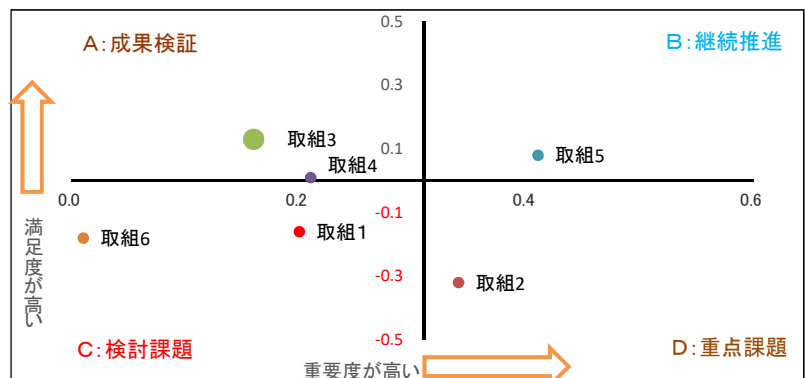
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	一人当たり都市公園等面積(市町公共施設状況)(m ²)県「平成27年度市町公共施設の状況」	28.5	9.3	14.4	7.9	4.2	9.1
2							
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

政策3 重要度と満足度の評価マトリクス

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.16				
満足度	0.13				



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H30年度に 重点化する 事業
		H28年度 実績額	H29年度 予算額	H30年度 予算の方向性	

基本方針(1)身近な公園・広場の創出

みつかわ夢の丘公園整備事業	環境政策課	146,608	285,885	縮小	
東海道どまん中袋井宿発信事業(メモリアル施設整備)	市民協働課	76,496	592	拡充	◎
公園愛護活動事業	都市整備課	6,570	6,592	継続	

基本方針(2)花を通した市民の健康づくり・交流の促進

花壇維持管理事業	都市整備課	6,579	6,619	継続	
花工場運営事業	都市整備課	5,552	5,701	継続	

基本方針(3)歩いてみたくなる水辺空間の創出

花咲くふくろい推進事業	都市整備課	545	1,844	拡充	

基本方針(4)公共緑地の適切な管理と宅地内緑化の推進

公園維持管理事業	都市整備課	77,115	51,841	継続	
公園長寿命化事業	都市整備課	24,518	40,000	拡充	◎
街路樹管理委託事業	都市整備課	57,674	61,341	継続	
公園芝生・樹木等管理委託事業	都市整備課	71,217	69,108	継続	

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎本市は、他市との比較の中で、一人あたりの都市公園等面積は28.5㎡と充足しており、地域住民の交流の場や防災機能の役割を担っている。 ◎公園の維持管理を地域団体等の愛護団体に依頼しており、愛護団体の活動継続の対応に努めている。 ◎花工場の花苗配布数については、花工場において数量調整を早いうちに行い、効率的に花苗を生産しボランティア団体や学校に配布した。また定期配布事業対象を高齢者等の社会福祉施設まで広げたため、花とふれあう市民が増えた。	H28 の 評 価	概ね順調
II. 28年度に取り組んだ内容	◎メモリアル広場を整備し、「袋井宿開設四〇〇年記念祭」を開催した。 ◎公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の更新や修繕を行うとともに、設置10年未満の公園を計画の対象に含めるよう計画の見直しを行った。また、花育に関する講座・イベントの開催数を増やし、公園愛護の意識を醸成させるとともに、愛護団体を新たに確保した。		
III. 今後の展開方向	◎地域との意見交換を重ねた上で、施設に必要な樹木・遊具数の適正化を図るとともに、公園や街路樹に愛着を持ち大切に扱う意識を醸成し、愛護活動に協力していただく団体を増やしていく。 ◎供用開始後30年以上経過している施設もあることから、点検を行った上で、必要な対策を定期的に行うなど、安全・安心な施設の維持管理に努める。		

取組別評価シート(平成28年度実績)

政策3	快適で魅力あるまちを目指します
取組4	恵みある河川・海岸づくり
取組の目的	人の生活に欠かせない水や多様な生物が生きる河川や海岸を大切にし、河川愛護や海岸保全の活動を推進します。

現状と課題	◎河川堤防の草刈りについて、自治会や部農会などの地域組織に行っていただいているが、高齢化や人口減少の影響から、地域組織以外の新たな担い手を発掘する必要がある。 ◎浅羽海岸について、平成26年度から防潮堤整備工事に着工し、県の防災林造成事業と連携しながら約15年後の完成を目指している。今後、防潮堤の利活用について、地域住民に有効利用される施設とするための検討を進めていく。
-------	--

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H26	H27	H28	H29	H32	H28達成率
1	浅羽海岸クリーン作戦参加者数 (人)	目標値	—	—	1,400	1,400	1,500	71.4%
		実績値	1,400	900	1,000			
2	河川愛護活動参加者数 (人)	目標値	—	—	25,500	26,000	27,500	91.8%
		実績値	24,571	23,641	23,416			
3	河川愛護(リバーフレンドシップ) の協定締結団体数 (団体)	目標値	—	—	48	49	55	100.0%
		実績値	46	52	52			
		目標値	—					
		実績値						
		目標値	—					
		実績値						
		目標値	—					
		実績値						
								87.7%

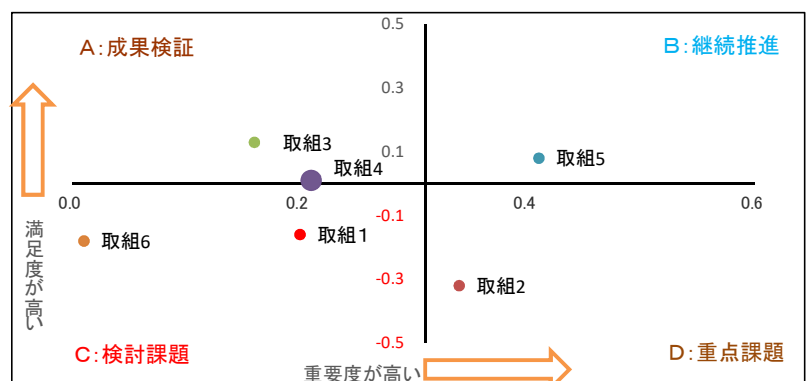
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1							
2							
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.21				
満足度	0.01				

政策3 重要度と満足度の評価マトリクス



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H30年度に 重点化する 事業
		H28年度 実績額	H29年度 予算額	H30年度 予算の方向性	

基本方針(1)環境に配慮した河川・排水路の整備推進

河川・排水路維持管理事業	建設課	33,392	29,522	継続	
新町・本町地内排水路改修事業	建設課	7,419	7,000	継続	
山田下谷の沢整備事業	建設課	0	5,000	継続	
木原2号排水路改修事業	建設課	3,240	3,500	継続	

基本方針(2)河川愛護の推進

河川・海岸愛護事業	建設課	39,242	37,931	継続	

基本方針(3)美しい海岸の創出

松食い虫等防除事業	農政課	822	986	継続	
松林保全管理事業(グリーンウェーブ活動)	農政課	4,788	3,445	継続	
生活環境保全林ゴミ清掃事業(県有防災林)	農政課	270	135	継続	
河川・海岸愛護事業【3-4-(2)再掲】	建設課	39,242	37,931	継続	

基本方針(4)海岸侵食対策の推進

福田漁港・浅羽海岸サンドバイパス推進事業	建設課	-	-	継続	

基本方針(5)防潮堤整備と利活用の促進

静岡モデル(袋井市)防潮堤整備事業	建設課	430,436	493,619	継続	◎

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎浅羽海岸クリーン作戦参加者数については、天候により参加人数の増減があったが、昨年度より増加した。今後も自治会への働きかけ等を継続して参加者の増加を目指していく。 河川愛護活動参加者数については横ばい傾向にあるので、今後も自治会への働きかけ等を継続し、参加者の増加を目指していく。	H 28 の 評 価	一部に 改善を要する
II. 28年度に取り組んだ内容	◎袋井幸浦の丘プロジェクトとして、豊沢工業団地からの開発発生土を活用し、防潮堤整備工事を実施するとともに、防潮堤完成後の利活用の実施計画策定に向けて協議検討を行い、植樹会を実施した。 ◎浅羽海岸について、松くい虫被害防止・グリーンウェーブキャンペーン事業(育樹活動)、県有防災林のゴミ清掃など、地域団体とともに保全活動を行った。また、7月の海岸愛護月間にあわせ、地元自治会や浅羽中学校生徒を中心に、「海岸クリーン作戦」を実施した。 ◎河川愛護活動では、地元自治会などが河川の草刈り等を実施した。		
III. 今後の展開方向	◎袋井幸浦の丘プロジェクトとして防潮堤を整備するとともに、今後の利活用を検討するため地元住民を対象としたワークショップを開催し、平成30年度末までに実施計画を作成する。 ◎草刈りを含めた愛護活動が難しくなってくることが予想されるため、新たな担い手を発掘し、多くの市民が参加できる体制・制度の創設に向けた検討を行っていく。		

取組別評価シート(平成28年度実績)

政策3	快適で魅力あるまちを目指します
取組5	豊かな環境の醸成と継承
取組の目的	市民・地域や企業等との協働により、環境にやさしい持続可能な社会の構築と多様性ある自然環境を保全します。

現状と課題	◎資源、省エネルギーを推進するとともに、新エネルギーの有効利活用を促進し、自然環境の保全と環境負荷の少ない資源循環型社会を構築することが求められており、3R(リデュース・リユース・リサイクル)の取組などを通して、資源循環の理解を深め、環境保全に対する意識の向上に努める必要がある。 ◎社会情勢や経済情勢の変化により、污水处理施設の整備を取り巻く環境は、非常に厳しくなっており、国で策定された「構想マニュアル」に基づき、集合処理区域を縮小し、個別処理区域を拡大することとした。これに伴い、合併処理浄化槽の補助制度の再構築が必要となっており、健全な経営を継続できるよう取り組む必要がある。
-------	--

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H26	H27	H28	H29	H32	H28達成率
1	1人1日あたりの可燃ごみの排出量(g/日)	目標値	—	—	516	515	510	97.5%
		実績値	518	529	529			
2	再生可能エネルギー機器設置件数(件)	目標値	—	—	7,983	8,883	10,000	95.2%
		実績値	6,183	6,903	7,602			
3	生ごみ処理機等設置費補助金交付件数(台)	目標値	—	—	2,290	2,355 2,315	2,550 2,390	98.0%
		実績値	2,160	2,204	2,245			
4	環境教育(ごみの教室、アースキッズ事業、エコパを活用した環境教育)の実施件数(件)	目標値	—	—	45	46	50	97.8%
		実績値	43	47	44			
5	污水处理人口普及率(%)	目標値	—	—	74.0	75.4	79.6	99.9%
		実績値	71.3	72.5	73.9			
6								97.7%

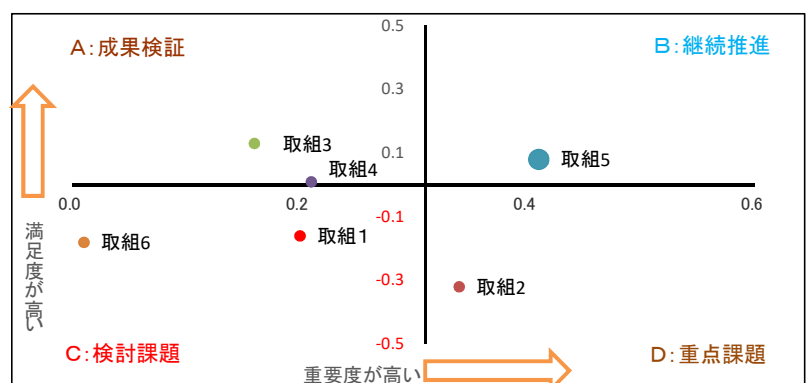
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	ごみ排出量(1人1日あたり)(g) 県「一般廃棄物処理事業のまとめ(平成26年度)」	873	748	645	693	857	902
2	污水处理人口普及率(%) 県「静岡県の下水道より(平成27年度)」	72.5	87.9	67.6	68.1	76.9	78.7
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.41				
満足度	0.08				

政策3 重要度と満足度の評価マトリクス



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H30年度に 重点化する 事業
		H28年度 実績額	H29年度 予算額	H30年度 予算の方向性	

基本方針(1)資源循環型社会の推進

環境基本計画推進事業	環境政策課	393	393	継続	
新エネルギー推進事業	環境政策課	22,276	22,686	継続	
バイオマス利活用推進事業	環境政策課	197	540	継続	
省エネルギー推進事業	環境政策課	70	130	継続	

基本方針(2)環境保全意識の高揚

環境教育推進事業	環境政策課	1,465	2,147	継続	

基本方針(3)地球環境の保全

環境基本計画推進事業	環境政策課	393	393	継続	
新エネルギー推進事業	環境政策課	22,276	22,686	継続	
バイオマス利活用推進事業	環境政策課	197	540	継続	
省エネルギー推進事業	環境政策課	70	130	継続	

基本方針(4)郷土の豊かな水辺環境の保全

公共下水道事業(袋井処理区)	下水道課	378,083	549,492	拡充	◎
公共下水道事業(浅羽処理区)	下水道課	173,463	141,552	継続	
公共下水道事業ストックマネジメント計画等策定業務	下水道課	24,624	49,500	継続	
地方公営企業法適用移行業務	下水道課	0	11,500	拡充	
合併処理浄化槽設置事業	下水道課	109,336	122,108	拡充	

基本方針(5)生活環境の保全・改善

美化運動推進事業	環境政策課	11,301	10,733	継続	

基本方針(6)快適な環境の創造

不法投棄対策事業	環境政策課	704	705	継続	

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎可燃ごみの排出量については、ごみの分別方法を一部変更したため、処理量が増加し、資源ごみの分別収集量が減少した。 ◎太陽光発電システムの導入について、広報誌及びホームページにおける補助金制度のPRに努め新エネ・省エネ機器の導入促進を図った。 ◎汚水処理人口普及率では、公共下水道の整備や供用開始区域内における接続率の向上、特定集団推進地域等における単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への転換により順調に推移している。	H 28 の 評 価	概ね順調
II. 28年度に取り組んだ内容	◎平成28年4月からのごみの分別方法の一部変更にとともに、環境美化指導員・推進員講習会や一部自治会への説明、リサイクル事業等のごみ減量推進事業を実施した。 ◎公共下水道の整備、訪問による接続推進及び適正な水道料金等の検討を重ね、平成28年4月1日に下水道使用料の改定(平均12%増)を行った。また、単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への転換の促進及び補助金の見直しに取り組んだ。		
III. 今後の展開方向	◎ごみ減量推進事業として「生ごみ減量(水切り10%)大作戦」を実施し、自治会、事業所への啓発に取り組み、ごみ処理経費の削減を進める。 ◎袋井市環境基本計画の実行性を高めるため、ごみの減量化や再資源化を推進するとともに、太陽光発電システム等の普及促進や、購入費補助を行うなど、資源循環型社会の形成に努める。 ◎公共下水道事業の基本構想を踏まえ、公共下水道の整備及び接続の推進を図るとともに、将来経費や経費回収率などを考慮した適正な使用料の改定を行い、健全な経営を継続できるよう取り組む。また合併浄化槽の補助金制度の見直し等、合併処理浄化槽の普及促進に取り組む。		

取組別評価シート(平成28年度実績)

政策3	快適で魅力あるまちを目指します
取組6	生活を快適にするICT環境の構築
取組の目的	市民生活や産業活動におけるICTの利用環境の充実を図るとともに、ICTにより市民サービスの向上を図ります。

現状と課題	◎市民が安全で安心して暮らせる社会及び快適な生活環境の実現のため、各分野でのICTの利活用による課題解決が期待されている。 ◎ICTを利活用できる優れた人材を地域で育成することにより、地域経済の活性化を促すとともに、新たな産業の振興につなげ、地域社会への好循環をもたらすことが求められている。
-------	--

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H26	H27	H28	H29	H32	H28達成率
1	電子申請で届出・申請可能な手続きの種類 (種類)	目標値	—	—	21	22	25	95.2%
		実績値	19	19	20			
2	オープンデータ公開件数 (件)	目標値	—	—	100	200 500	500 800	100.0%
		実績値	23	23	443			
3	公共施設のWi-Fiスポット設置割合 (%)	目標値	—	—	52.5	62.5	100.0	100.0%
		実績値	42.5	45.0	57.5			
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						
								98.4%

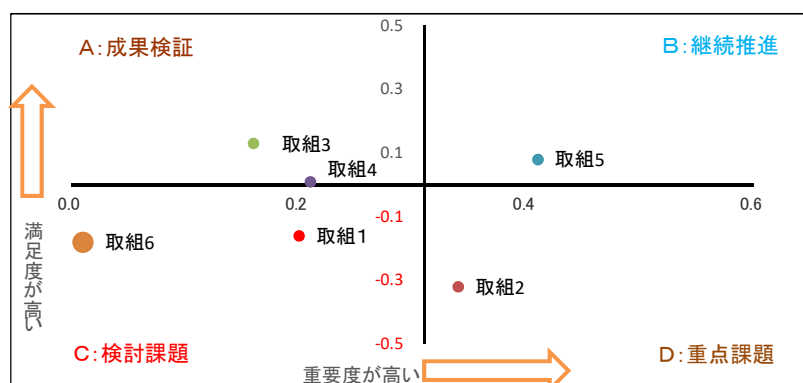
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1							
2							
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.01				
満足度	-0.2				

政策3 重要度と満足度の評価マトリクス



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H30年度に 重点化する 事業
		H28年度 実績額	H29年度 予算額	H30年度 予算の方向性	

基本方針(1)ICT を活かした先進性の高いまちづくりの推進

ICT街づくり推進事業	ICT街づくり課	4,370	6,719	継続	◎

基本方針(2)新たな価値の創出と地域活性化につながるICTの活用

ICT街づくり推進事業(地方創生推進交付金事業)	ICT街づくり課	11,000	4,500	継続	

基本方針(3)ICTを活用できる人材の育成

ICTを活かした先進教育推進事業(小学校・中学校)	学校教育課	8,750	10,599	拡充	
市民のITリテラシー向上推進事業【再掲1-3-(2)】	生涯学習課	0	500	継続	

基本方針(4)ICTインフラの整備

ICT街づくり推進事業【再掲3-6-(1)】	ICT街づくり課	4,370	6,719	継続	

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎電子申請手続システムでは、マイナンバーを活用した手続きにも既存システムを活用することが予定されており、制度の周知に努める必要がある。 ◎ICTに関する通信の発行、研修会の開催など、職員に対し周知徹底を図ったことにより、オープンデータ公開件数は、1年間で5年間計画の目標値に近接した数値となった。 ◎市民の生活に直接的に関わる取組ではないため、市民意識調査の結果では満足度は低い結果となっているが、市民生活の向上や行政運営の効率化に必要な取組であり、市民に取組の内容や成果をよりわかりやすく情報発信していく必要がある。	H 28 の 評 価	概ね順調
II. 28年度に取り組んだ内容	◎電子申請システムの活用促進を目的に、職員向けの通信を発行し、個別に業務案内を行うことで、認知度・理解度の深化を図った。 ◎オープンデータの研修を職員向けに実施することで、職員の理解が深まり、オープンデータ公開件数の増加につながった。また、袋井市公衆無線LAN(Wi-Fi)整備方針を定め、行政と民間の整備範囲を明確化した。		
III. 今後の展開方向	◎庁内における電子申請システムの理解度を深め、マイナンバーを活用した申請手続の開始に向け準備を進めるとともに、手軽にオープンデータ化が可能となる環境を整備する。 ◎静岡理工科大学とオープンデータの利活用について検討を進め、将来的なアプリ開発に向けた取組を進めるとともに、防災対策やICT教育実施のための小中学校(避難所)への通信環境の整備を進める。		